

## 【審査のポイント】

1. 基本的な評価
  - ・問題設定、論証ないし検証(あるいは先行研究の検討)、結論の提示が明確になされていること。
  - ・論文全体において論理的妥当性・一貫性があること。
2. 参考文献・資料について
  - ・論文執筆にあたって使用した文献・資料が、信頼性と学術性があるものであること。それらが、論文の中で適切に使用されていること。
  - ・引用、参考文献については、著者、書名、出版社、出版年、引用・参照ページ箇所を明記すること。
3. 著作権法を遵守すること
  - ・引用者における改ざんやコピーの禁止。
  - ・参考文献・資料から引用する場合、引用部分および出典が明記され、引用が正確であること。
  - 文字などの改変があった場合は「引用者におけるもの」であることを明記すること。
4. 積極的に評価(加点)する点
  - ・応募者独自の問題意識や独創的な論の展開が示されていること。
  - ・研究が更に発展していく可能性を感じられること。

以上のポイントをもとに、総合的に審査します。

第48回学生懸賞論文審査委員会  
委員長 岡村 圭子(国際教養学部教授)  
委員 廣田 愛理(外国語学部准教授)  
内倉 滋(経済学部教授)  
大藤 紀子(法学部教授)